

令和5年10月17日
政策経営部港湾臨海部対策担当

令和5年度 第二回豊洲市場に係る都区連絡調整協議会について

1 開催日 令和5年10月4日（水）

2 主な協議内容

- ・都区間の協議事項のうち、土壌汚染対策及び千客万来施設事業等について都側から現状説明後、質疑。
- ・千客万来施設事業に関しては、令和5年9月末に施設が竣工したこと、テナントリーシングの結果（誘致見込み）について報告があった。このほか、5街区の将来活用に向けた検討状況について報告があった。

（1）土壌汚染対策について

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、地下水管理システムの効率的運用のため貯留槽の増設工事を行うと聞いていたが、工事の進捗を伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近年増加傾向にあるゲリラ豪雨など大雨の影響により、一時的に地下水量が増加し、水位が高くなる状況にある。こうした課題に対応するため、本年8月に、5・7街区で貯留槽を増設した。また、6街区においても貯留槽の増設に着手し、地下水管理システムの効率化・安定化を図っている。

（2）千客万来施設事業等について

①テナントリーシング

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・誘致見込み数は、目標店舗数とあまりにかけ離れた数である。こうなったことの原因を、どう分析しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者としては、当初、170店舗の入居を想定していたが、新型コロナや資機材価格の高騰などの事業環境の変化を受け、設計変更を行わざるを得なかったと聞いている。また、安定的に事業を継続していく観点から、複数区画をまとめて借り一定規模で営業を希望する事業者もあり、結果として、当初想定より少ない店舗数となった。

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・このリーシング結果は、多様で小規模な店舗が多数立ち並び、市場ならではの渾然とした雰囲気を作り出す、という従来の事業趣旨をクリアしているとは言えないのではないか。 ・テナントリーシングの結果に対して、具体的な改善が示されておらず、都の取組は、不満の残る内容と受け止めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食楽棟2階の目利き横丁を中心に、飲食、物販ともに市場らしさを感じられるバラエティに富んだ店舗が展開予定である。また、市場関係業者等と連携したイベント・物産展等も検討しており、東京の食の魅力の新たな発信源になるものと認識している。

②5 街区の将来活用

区側	都側
<ul style="list-style-type: none"> ・5街区活用において、利用形態やスケジュールなど、具体的な案はあるか。また、令和6年度予算措置の調整状況を伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5街区においては、賑わいを継続するため暫定的な活用について検討を進めている。現在の江戸前場下町は解体、撤去の上、来訪者が、常時利用可能なスペースとして活用するほか、各種イベントの利用にも供する方向で検討中である。現在予算要求を検討中であり、スケジュールも今後検討していく。